

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 4 年 1 月 2 0 日

1. 観光地域づくり法人の組織

| | | |
|--|--|---|
| 申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと | 広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO | |
| 観光地域づくり法人 の名称 | 一般社団法人宇部観光コンベンション協会 | |
| マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域 | 区域を構成する地方公共団体名 山口県宇部市 | |
| 所在地 | 山口県宇部市常盤町一丁目6番44号 | |
| 設立時期 | 1996年 6月 宇部観光コンベンション協会設立 2000年10月 社団法人宇部観光コンベンション協会設立 2012年 4月 一般社団法人に移行 | |
| 職員数 | 7人【常勤7人(正職員3人・出向等4人)、非常勤0人】 | |
| 代表者(トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者) | (氏名) 徳原 幹男 (出身組織名) (一社)宇部観光コンベ ンション協会会長 | 2010年から2016年まで宇部商工会議所の 副会頭として、地域の事業者の先頭に立ち、様々な 取り組みで地域の発展に貢献した。2017年6月 に当協会の会長に就任した。 |
| 財務責任者 (CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー)及び業務 執行全般の責任者 | (氏名) 白石 勝己「専従」 (出身組織名) 宇部市 | 宇部市観光・シティプロモーション推進部次長等 を歴任後、2021年4月に当協会の事務局長に 就任。同年6月に専務理事に就任。行政と民間事業 者との連絡調整能力等を有する。協会の持続可能な 運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を 行う。 |
| データ収集・分析等 の専門人材(CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサ ー) | (氏名) 佐々木 正志「専従」 (出身組織名) (一社)宇部観光コンベ ンション協会 | 旅行業界やホテル業界での経験を活かし、着地型商 品開発や観光企画及びマネジメント、観光地域マー ケティングについての業務を担う。 |
| Webデータ収集の 責任者(専門人材) | (氏名) 高野 敦「専従」 (出身組織名) (一社)宇部観光コンベ ンション協会 | 当協会のWeb担当者として、Webサイト等を活 用した情報発信プロモーションやWebデータ収集 において高い知見と能力を持つ。 |
| プロモーションの責 任者(専門人材) | (氏名) 吉原 千穂「専従」 (出身組織名) (一社)宇部観光コンベ ンション協会 | 豊富な観光知識と経験、幅広い人脈を持ち、当協会 の誘客プロモーションの中心的な役割を担って、国 内外に向けた観光客誘致に従事している。 |

(別添) 様式 1

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p> | <p>宇部市 ○観光・シティプロモーション推進部 （データ収集、広域連携の推進、観光施策の企画・立案、ときわ公園、シティプロモーション、UBEビエンナーレ、MICE誘致） ○総合戦略局（移住定住、交通政策、中心市街地活性化、SDGs推進） ○政策広報室（広報活動、広域連携） ○市民環境部（市民活動の推進、地域コミュニティ、環境保全） ○健康福祉部（バリアフリー） ○商工水産部（キャッシュレス化、6次産業化、うべ元気ブランド、水産振興） ○都市整備部（宇部港利活用、景観維持、ガーデンシティ、公園管理） ○北部・農林振興部（中山間地域づくり、農業振興） ○教育委員会（文化財活用推進等）</p> <p>山口県 ○観光スポーツ文化部観光政策課・観光プロモーション推進室・インバウンド推進室 （観光施策、国内及び外国人観光客の誘致、観光資源及び物産の振興） ○観光スポーツ文化部交通政策課 （交通運輸施策の企画及び調整等） ○総合企画部中山間地域づくり推進課 （中山間地域づくり、地域滞在型交流の促進等）</p> |
| <p>連携する事業者名及び役割</p> | <p>【受入体制構築】 宇部旅館ホテル生活衛生同業組合、 山口県飲食業生活衛生同業組合宇部支部、 宇部市商店街連合会、公益財団法人宇部市常盤動物園協会、 宇部市ふるさとコンパニオンの会</p> <p>【商工振興・経営支援】 宇部商工会議所、くすのき商工会</p> <p>【特産品・体験型プログラム・着地型商品開発】 山口県農業協同組合宇部統括本部、宇部市漁業協同組合連合会、 山口県赤間硯生産協同組合、有限会社たましげ、 株式会社永山本家酒造場、宇部蒲鉾株式会社、楠むらづくり株式会社、 アクトビレッジおの、一般社団法人宇部市スポーツコミッション、 公益財団法人宇部市体育協会、一般財団法人宇部市文化創造財団、 宇部菓子組合、地区コミュニティ推進協議会、大学・高等専門学校、 一般社団法人山口県旅行業協会</p> <p>【アクセス改善】 西日本旅客鉄道株式会社山口支社、宇部市交通局、 船木鉄道株式会社、宇部タクシー協会、山口宇部空港ビル株式会社</p> <p>【広域連携】 宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会 山口県央連携都市圏域推進協議会 一般社団法人山口県観光連盟（やまぐちDMO） 一般社団法人せとうち観光推進機構（せとうちDMO）</p> |

(別添) 様式 1

| <p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p> | <p>【該当する登録要件】① (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当協会は地域の多様な関係者が参画して、会員数404名(法人、団体、個人)で構成されている。年1回開催する総会において、観光地域づくりの取組(事業報告と事業計画)について、情報共有を行い、連携の強化と合意形成の確立を図る。 ○幅広い分野の関係団体(観光資源、宿泊、交通、行政、文化、スポーツ、飲食、商工等)の代表者20名が、当協会の役員となり、年4回程度開催する理事会において、持続可能な観光地域づくりを構築するために、戦略の策定や見直し、受入環境の整備、戦略の整合性に関する調整や仕組みづくり等について、意見交換と意思決定を行う。 (役員構成:会長1名・副会長3名・理事16名/全員地域関係者) ○当協会の会長、副会長、各部長、及びマーケティング責任者をはじめ、各部門の責任者で構成するミーティングを毎月1回開催し、事業の進捗や結果報告をもとに、評価、検証を行う。 | | | | |
|--|---|----|------|--------------|---|
| <p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○講演会、研修会、ワークショップなどの開催 市民及び関係者を対象として、観光地域づくり、観光プロダクト、各種ツーリズム、人材育成(おもてなし・案内)等をテーマとしたセミナーを開催する。 ○情報公開・共有 観光地域づくりに関する情報を市民に公開し、理解と関与を確保する。 | | | | |
| <p>法人のこれまでの活動実績</p> | <p>(活動の概要)</p> <p>『観光・コンベンションは地域発展の推進力』という基本理念に基づき、持続可能な観光地域づくりに向けて、事業方針に沿って、次の6項目を重点施策として取り組んできた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 DMO UBE の形成・確立に向けた、マネジメント機能とマーケティング機能の充実 2 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した安心・安全な受入環境の提供と情報発信 3 MICEの誘致と受入・支援体制の構築 4 ときわ公園をはじめとする、観光資源を活かした戦略的な観光プロモーションの展開 5 産業観光や着地型商品の造成と観光プロダクトの開発、販売による誘客拡大 6 山口県、山口県観光連盟、山口県央連携都市圏域推進協議会及び宇部市と連携した事業の推進 <p>○令和2年度事業報告(抜粋)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">事業</th> <th>実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■コンベンション誘致強化事業 ■フィルムコミッション推進事業 ■観光動画発信事業 ■Webサイト開発・会報発行事業 ■観光大使派遣選出事業 </td> </tr> </tbody> </table> | 事業 | 実施概要 | 情報発信・プロモーション | <ul style="list-style-type: none"> ■コンベンション誘致強化事業 ■フィルムコミッション推進事業 ■観光動画発信事業 ■Webサイト開発・会報発行事業 ■観光大使派遣選出事業 |
| 事業 | 実施概要 | | | | |
| 情報発信・プロモーション | <ul style="list-style-type: none"> ■コンベンション誘致強化事業 ■フィルムコミッション推進事業 ■観光動画発信事業 ■Webサイト開発・会報発行事業 ■観光大使派遣選出事業 | | | | |

(別添) 様式 1

| | |
|------------------|--|
| <p>受入環境の整備</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■グルメガイド作成事業 ■ホスピタリティ推進委員会事業 ■観光まちづくり推進事業 ■ときわ公園観光推進事業 ■観光案内所事業 ■共催事業 ■食の魅力応援プロジェクト |
| <p>観光資源の磨き上げ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会事業 ■着地型商品開発・販売事業 ■農泊推進事業 ■滞在コンテンツ造成事業 |

(定量的な評価)

○会員数 404 (2022/1/20 現在)

○コンベンション延べ参加者数

| | |
|--------------|----------------------|
| 2017 (H29) 年 | 11,657 人 |
| 2018 (H30) 年 | 11,362 人 |
| 2019 (R 1) 年 | 9,184 人 |
| 2020 (R 2) 年 | ※大規模・中規模コンベンション、開催中止 |

○産業観光バスツアー参加者数

| | |
|--------------|----------------|
| 2017 (H29) 年 | 1,537 人 |
| 2018 (H30) 年 | 991 人 |
| 2019 (R 1) 年 | 1,178 人 |
| 2020 (R 2) 年 | 26 人 ※募集型旅行は中止 |

○Webサイトアクセス数

| | | | | |
|--------------|-----|---------|---------|---------|
| 2017 (H29) 年 | 訪問数 | 120,088 | ページビュー数 | 380,334 |
| 2018 (H30) 年 | 訪問数 | 107,811 | ページビュー数 | 292,725 |
| 2019 (R 1) 年 | 訪問数 | 111,255 | ページビュー数 | 261,206 |
| 2020 (R 2) 年 | 訪問数 | 86,537 | ページビュー数 | 195,953 |

○Facebook 年間ページビュー

| | |
|--------------|--------|
| 2017 (H29) 年 | 30,331 |
| 2018 (H30) 年 | 15,652 |
| 2019 (R 1) 年 | 19,873 |
| 2020 (R 2) 年 | 34,985 |

(別添) 様式 1

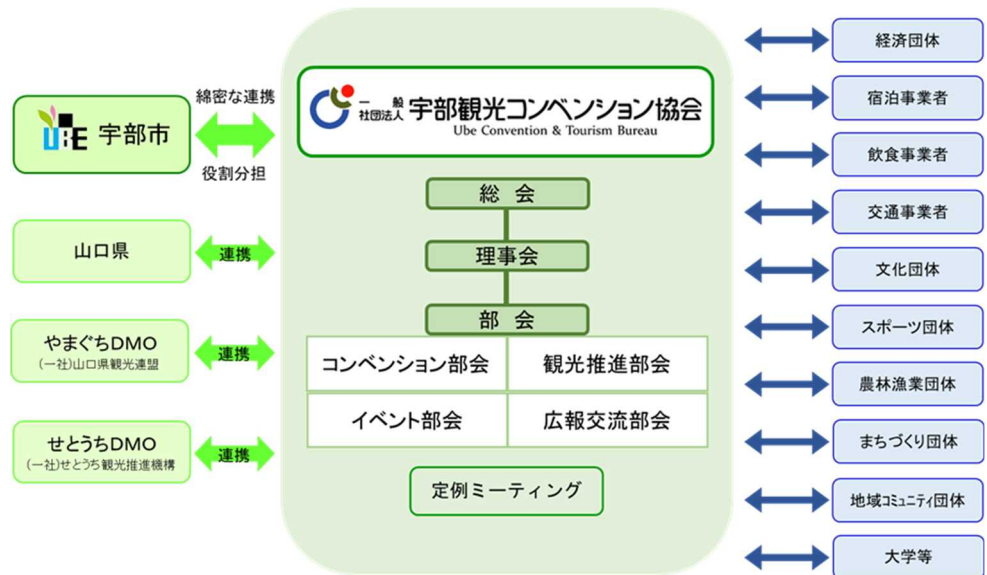
実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。

(実施体制の概要)

- 当協会に参画する地域の多様な関係者(観光資源関係者、宿泊事業者、交通事業者、行政等)と緊密な連携をとり、運営していく。
- 幅広い分野の関係団体の代表者で構成する理事会において、戦略の策定や見直し、受入環境の整備、戦略の整合性に関する調整や仕組みづくり等について、意見交換と意思決定を行う。
- 当協会の会長、副会長、各部長、及びマーケティング責任者をはじめ、各部門の責任者で構成するミーティングを毎月1回開催し、事業の進捗や結果報告をもとに、評価・検証を行うことで、PDCAサイクルを確立し、より効率的な協会運営・事業運営を図っていく。

(実施体制図)



2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

宇部市全域



【区域設定の考え方】

宇部市は、山口県の空の玄関口である山口宇部空港をはじめ、大型クルーズ船も着岸できる宇部港、山陽自動車道等の高速道路網、山陽新幹線新山口駅や厚狭駅にも近いなど、国内外からの交通アクセスに恵まれている。

当協会ではこの優位性を活かし、本市最大の観光施設である「ときわ公園」を中心に「緑と花と彫刻のまち」である本市の魅力発信、「ものづくり」のまちの特性や、自然、文化、スポーツ、歴史、食の地域資源を活かした着地型観光コンテンツの充実、宇部まつりや花火大会等の魅力あるイベントの開催、学会、スポーツ大会などのMICEの誘致等により、行政、関係団体等と連携して観光誘客を図ってきたところである。

その結果、宇部市への観光客数は、近年増加傾向にあり、受入環境の整備充実に努めている。そこで、地域の観光関連団体のみならず、多様な関係者の参画、連携強化、合意のもと、本市の特性を活かした観光まちづくりを一体となって戦略的に進める必要があることから、宇部市全域を区域とする地域DMOの形成を目指すこととした。

また、海外や首都圏などからの観光誘客には、山口県や一般社団法人山口県観光連盟（やまぐちDMO）、近隣市等と連携し、観光プロモーション、情報発信を行うとともに、文化、スポーツ、アート、産業などのテーマ別観光の推進やデータ等に基づく顧客視点に立った、旅行商品の開発、周遊パスの企画などの取組を進めていく。

(別添) 様式 1

【観光客の実態等】

宇部市への観光客数

(* 出典：山口県観光客動態調査)

| 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | (年) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 1,068,079 | 1,359,630 | 1,526,720 | 1,608,348 | 1,708,418 | 1,827,558 | 1,099,698 | (人) |

観光客数、延べ宿泊者数、旅行消費額、いずれも対前年を上回っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年は大幅に減少した。宇部市を訪れる観光客の70~80%が県内からである。宿泊においてはシングル比率が高い(平均85%程度)。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

観光施設 ときわ公園(動物園、植物館、遊園地、石炭記念館等)、楠こもれびの郷、海水浴場(キワ・ラ・ビーチ、白土)

商業施設・産業観光 産業観光バスツアー、藤河内茶園、うべ新鮮市場元気一番、楠こもれびの郷、赤間硯の里、永山本家酒造場、たましげ琴製作所、宇部かまぼこ、山口県産業技術センター、ときわ公園(世界かんがい施設遺産)、近代化産業遺跡群

歴史・文化 野外彫刻(ときわ公園、市街地)、渡辺翁記念会館、宗隣寺、琴崎八幡宮、瑞松庵、福原史跡公園、北向地蔵、学びの森くすのき、ヒストリア宇部、川崎美術館

自然体験 ときわ公園(常盤湖)、小野湖、吉部の大岩郷、キワ・ラ・ビーチ、霜降山、荒滝山
ときわ公園(動物園、植物館ほか)、農業体験(万農塾、宇部版クラインガルデン)、アクトビレッジおの(野鳥観察、野外活動)、宇部かまぼこ(かまぼこ作り)、永山本家酒造場、赤間硯の里、たましげ琴製作所、座禅体験、移住お試し住宅

温泉 楠こもれびの郷、持世寺温泉、片倉温泉

スポーツ ゴルフ場、ココランド宇部(フットサル場、レジャープール、体育館ほか)、ときわ公園(周遊園路、グランドゴルフほか)、恩田運動公園他スポーツ施設、中央公園(テニスコート)

イベント UBEビエンナーレ、まちじゅうアートフェスタ、宇部まつり、新川まつり、お茶まつり、花火大会、くすのきカントリーマラソン、TOKIWAファンタジア

食 瀬戸内海の水産物、宇部ラーメン、お茶、かまぼこ、地酒、和菓子、うべ元気ブランド商品

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

| 地域 | 施設タイプ | ホテル | ビジネスホテル | 簡易宿所 | 民泊 | *その他施設 | 合計 |
|--------------------|---------|-----|---------|------|----|--------|-------|
| 宇部新川駅 エリア | 施設数(軒) | 2 | 9 | — | — | — | 11 |
| | 客室数(室) | 242 | 519 | — | — | — | 761 |
| | 収容人数(人) | 397 | 848 | — | — | — | 1,245 |
| 東新川駅 琴芝駅 エリア | 施設数(軒) | — | 5 | — | — | 1 | 6 |
| | 客室数(室) | — | 187 | — | — | 30 | 217 |
| | 収容人数(人) | — | 264 | — | — | 30 | 294 |
| 宇部駅 エリア | 施設数(軒) | — | 2 | — | — | — | 2 |
| | 客室数(室) | — | 88 | — | — | — | 88 |
| | 収容人数(人) | — | 130 | — | — | — | 130 |
| 郊外 | 施設数(軒) | 1 | 1 | 3 | 3 | 2 | 10 |
| | 客室数(室) | 50 | 203 | 3 | 4 | 10 | 270 |
| | 収容人数(人) | 144 | 263 | 12 | 14 | 100 | 533 |
| 合計 | 施設数(軒) | 3 | 17 | 3 | 3 | 3 | 29 |
| | 客室数(室) | 292 | 997 | 3 | 4 | 40 | 1,336 |
| | 収容人数(人) | 541 | 1,505 | 12 | 14 | 130 | 2,202 |

*その他施設：カプセルホテル、ユースホステル、研修施設

(別添) 様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

●宇部市内（中心部）まで

| | |
|------------------------------|--|
| 山口宇部空港をご利用の方 (羽田便が1日10往復) | タクシーで約10分 |
| | 宇部市営バスで約15分 |
| JR新山口駅をご利用の方 (新幹線のぞみ停車駅) | 宇部市営バス(特急)で約40分 JR宇部線で約50分 |
| 車をご利用の方 | 「山陽自動車道」宇部ICから車で約15分 |
| 遠方からのアクセス | 東京から・・・約1時間30分(飛行機) 広島から・・・約1時間10分(新幹線+特急バス) 福岡から・・・約1時間10分(新幹線+JR宇部線等) 約2時間10分(高速バス) |

●宇部市内の交通

| | |
|------------------|--|
| 鉄道 | JR山陽本線、JR宇部線(本数が少ない) |
| 路線バス | 宇部市営バス、船鉄バス、サンデン交通 (市街地の主要路線以外は本数が少ない) |
| めぐりな (市内循環バス) | 約60分で市内の所要箇所を一周 (JR宇部新川駅～ときわ公園～山口宇部空港～ ～フジグラン宇部～宇部市役所～JR宇部新川駅) |
| 観光タクシー | 《料金例》小型タクシーの場合 2時間：10,240円～、3時間15,360円～ |

【外国人観光客への対応】

- 多言語対応の強化(多言語表記・多言語案内) ※飲食店、小売店等
- 多言語観光案内標識の整備
- キャッシュレス決済の環境整備
- 無料公衆無線LANの環境整備
- 免税店の整備促進
- JNTO認定外国人観光案内所の設置
- 山口宇部空港国際線ターミナル外国人観光案内所の開設 ※国際便運航日のみ
- インバウンドおもてなし
- Web、パンフレットの多言語化 ※英語、韓国語、中国語(繁体、簡体)

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ | 収集の目的 | 収集方法 |
|-------------------|----------------|----------------|
| 旅行消費額 | 経済効果の把握、施策評価 | 観光動向調査・アンケート調査 |
| 延べ宿泊者数 | 効果測定、戦略策定・見直し | 観光動向調査 |
| 来訪者満足度 | 施策評価、戦略策定・見直し | アンケート調査 |
| リピーター率 | 施策評価、戦略策定・見直し | アンケート調査 |
| 観光客数 | 効果測定、戦略策定・見直し | 観光動向調査 |
| コンベンション延べ参加者数 | 効果測定、施策評価、 | 主催者等への調査 |
| 外国人観光客数 | 効果測定、戦略策定・見直し | 観光動向調査 |
| Webサイトへのアクセス(訪問数) | マーケティング分析、戦略策定 | Webサイト集計機能 |

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

宇部市の人口は1995年の182,765人から減り続け、人口減少、少子高齢化に直面し、生産年齢人口の減少に伴って、市内総生産も減少している。こうした地域の課題に対し、観光交流人口による経済効果の増大を図るため、観光地域づくり法人(DMO)・一般社団法人宇部観光コンベンション協会を中心に、観光による地域づくりに取り組んでいるところである。ときわ公園をはじめ、宇部市内の地域資源を活用して、市民の地域への誇りと愛着を醸成するとともに、関係人口の増加につなげることとしている。

(2) 地域の強みと弱み

| | 好影響 | 悪影響 |
|------|---|---|
| 内部環境 | <p>強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域交通拠点による本市までのアクセス ○緑と花と彫刻のまち <ul style="list-style-type: none"> ・「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」 ・設置されている野外彫刻は約200点 ・総合公園「ときわ公園」 ○産業を活かした観光コンテンツ ○ホテルタイプの宿泊施設の収容力 ○多種多様な飲食店の存在 ○高等教育機関の集積 ○スポーツ施設の充実 | <p>弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●二次交通、市内公共交通の利便性の欠如 ●観光地等の認知度・関心度の低さ ●“らしさ”“ならでは”のコンテンツの不足 ●来訪者を歓迎する受入環境(ソフト・ハード)及び旅行者を意識したサービスの欠乏 ●周遊システムの未構築 ●情報発信の不達 ●「食」「特産品」「土産品」の不足 ●宿泊施設のバリエーションの乏少 |
| 外部環境 | <p>機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山口宇部空港における国際便の運航(*運休・調整中) ○外国人来訪者が多い福岡県・広島県に隣接 ○宇部市ゆかりの著名人のメディア露出 ○「住みたい田舎ベストランキング」宇部市が2年連続上位にランクイン ○山口県央連携都市圏域の取組 ○山口市産業交流拠点施設の開設に伴う連携 | <p>脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口減少、少子高齢化 ●担い手不足 ●観光における地域間競争の激化 ●インバウンド需要の先行き不透明 ●新型コロナウイルス感染症の拡大 ●山口市に大型コンベンション施設オープン |

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入(様式自由)。

(3) ターゲット

| |
|---|
| <p>○【国内】第1ターゲット層 福岡県及び広島県の個人・グループ</p> <p>■選定の理由 県外からの来訪者は全体の20～30%である。そのうち、福岡県及び広島県がそれぞれ県外来訪者の20～30%であり、両県で約半数を占めている。ほど近い隣県の大市場で、両県への積極的なプロモーション活動の成果もあり、今後も増加が見込まれる。</p> <p>■取組方針 データ収集や調査の分析結果に基づいて、ターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、プロモーションを展開する。さらに、来訪者が市内の回遊度を高め、滞在時間の拡大及び宿泊増加につながるよう整備を図る。コロナ禍の中において旅行意向が高い“ミレニアル世代”をメインターゲット層として検証。</p> |
| <p>○【国内】第2ターゲット層 首都圏の個人・グループ（観光客・ビジネス客）</p> <p>■選定の理由 延べ宿泊者の約55%が近隣エリア（県内、九州地方及び中国地方）からの来訪者であるが、それに次ぐのが関東エリア（約13%）である。山口県の空の玄関口である山口宇部空港は市街地から比較的近く、羽田便が1日10往復と首都圏からのアクセスも良い。県内広域での来訪が主であっても、首都圏からのゲートウェイとなる当市の利点を生かした誘客が期待できる。</p> <p>■取組方針 データ収集や調査の分析結果に基づいて、ターゲット層の誘客及びビジネス客層のクロスセルにつながるコンテンツを開発し、プロモーションを展開する。観光においては、コロナ禍の中において、旅行意向が高い“ミレニアル世代”をメインターゲット層として検証。</p> |
| <p>○【国内】第3ターゲット層 国内MICE誘致（300～500人規模）</p> <p>■選定の理由 宇部市内には、山口大学医学部、工学部をはじめとした高等教育機関が集積しており、学会や研究会、スポーツ大会等のニーズが高く、これまでも多くの開催実績がある。MICE開催は来訪者による宿泊、飲食、関連イベント等の開催などを通じて地域への経済波及効果も高く、宇部市の名前が広域に発信され、知名度向上も期待できる。</p> <p>■取組方針 行政や関係団体（宿泊事業者、飲食事業者、交通事業者等）との連携によるMICE開催支援システムを確立する。大学・高専関係者との情報交換会の実施やMICE開催検討団体等との情報交換により、広域的な情報収集力の強化を図る。</p> |
| <p>○【海外】第1ターゲット層 東アジア（台湾など）の来日経験豊富な個人・グループ</p> <p>■選定の理由 台湾からの来訪者は外国人観光客の約4%にとどまっているが、台湾からの山口宇部空港への国際チャーター便の実績もあり、需要の拡大が期待できる。</p> <p>■取組方針 データ収集や調査の分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、山口県ややまぐちDMO等と連携して、プロモーションを展開する。多言語表記や無料公衆無線LAN等、外国人観光客の受入環境整備を促進する。</p> |

| |
|---|
| <p>○【海外】第2ターゲット層 欧米諸国の来日経験豊富な個人・グループ</p> <p>■選定の理由 欧米諸国からの来訪者は外国人観光客の約4%であるが、宇部市が2020年東京オリンピック・パラリンピックのスペインのホストタウンとなったことや、スペイン・カステジョ市と姉妹都市提携をしたこと等を契機として、今後増加が期待される。世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」には、各国から多数のアーティストが参加している。一般的に、旅行消費額が高いターゲット層であり、経済効果も期待できる。</p> <p>■取組方針 データ収集や調査の分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、山口県ややまぐちDMO、せとうちDMO等と連携して、プロモーションを展開する。</p> |
|---|

(4) 観光地域づくりのコンセプト

| | |
|-------------------|--|
| <p>①コンセプト</p> | <p>「緑と花とアートにあふれるグローバル・シティうべ」</p> |
| <p>②コンセプトの考え方</p> | <p>宇部市は1950年代、戦災復興や工業都市としての発展と引き換えに発生した「世界一灰の降る街」という公害問題を全市民が一体となった「宇部方式」といわれる独自の公害対策の取り組みにより克服した。</p> <p>公害克服の過程で市民運動として広がった、「花いっぱい運動」や「宇部を彫刻で飾る運動」が現在の「花壇コンクール」と「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」につながり、宇部市のキャッチフレーズ「緑と花と彫刻のまち」の礎となっている。この独特なまちづくりの歴史、全国に誇れる独自の「まちづくりのドラマ」こそが宇部市の財産であり、地域資源でもある。自然や環境、産業、アート、建築等をまちづくりと結び付ける、ストーリー性の高い素材に恵まれている。</p> <p>この「まちづくりのドラマ」を最大限活かすとともに「緑と花と彫刻のまち」のシンボルである「ときわ公園」を中心に「アートによるまちづくり」を発展させていく。さらに、工業都市としての特性を活かした産業観光、瀬戸内の海や中山間地域の豊かな自然に育まれた農水産物など、宇部市の誇る多彩な地域資源を磨き、国内外に広く情報発信していく。</p> <p>また、「宇部方式」は、「産・官・学・民」の四者が相互信頼と役割分担による連携により“自分たちの地域社会は自分たちで”という自治意識のもと、科学的調査データに基づく話し合いによる対策を第一として地域ぐるみの自主的な活動を基本理念としている。</p> <p>「宇部方式」は現在においても、国際的に高く評価され、世界各国が直面している環境問題に有効な先駆事例としてアジアへ、そして広く世界へ発信している。</p> <p>当協会も「宇部方式」の基本理念にならい、観光による地域まちづくりを推進していく。</p> |

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目 | 概要 |
|--|--|
| <p>戦略の多様な関係者との共有</p> | <p>総会、理事会、ミーティング、フォーラム、セミナー、ワークショップ</p> <p>○地域の多様な関係者が参画する総会（年1回）と幅広い分野の関係団体（観光資源、宿泊、交通、行政、文化、スポーツ、飲食、商工等）の代表者が参画する理事会（年4回程度）において、観光地域づくりの取組の方向性や戦略について情報共有を図る。</p> <p>○当協会の会長、副会長、各部会長、及びマーケティング責任者をはじめ、各部門の責任者で構成するミーティングを毎月1回開催し、事業の進捗や結果報告をもとに、戦略との整合性に関する調整を行う。</p> <p>○当協会を中心として、コミュニケーションの場（セミナーやフォーラム、ワークショップ）を設けて、関連事業者や地域住民へ戦略の共有を図る。（年2回程度）</p> |
| <p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p> | <p>■観光人材に係る認定制度を実施 「うべ観光ソムリエ」認定制度 うべの魅力を案内・説明出来る人材を認定する。ホスピタリティの向上を図り、まち全体でおもてなしの機運を高める。 「グローバル観光タクシー認定ドライバー」 おもてなし研修を受講、修了したドライバーを認定。 外国人観光客に対してサービスレベルの向上を図る。</p> <p>■人材育成セミナーの開催</p> <p>■来訪者満足度調査の実施及び分析</p> |
| <p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p> | <p>■Webサイトの整備 ・ワンストップ窓口の実施 ・Webサイトの多言語化 ※英語、韓国語、中国語（繁体、簡体） ・Webサイトのスマートフォン対応</p> <p>■SNS、観光アプリ等を利用した効果的なプロモーション</p> <p>■オンラインツールを利用した配信</p> <p>■広告媒体を活用した情報発信</p> <p>■ファムトリップの実施</p> <p>■イベント等への出展</p> |

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

| 指標項目 | | 2018 (H30) 年度 | 2019 (R1) 年度 | 2020 (R2) 年度 | 2021 (R3) 年度 | 2022 (R4) 年度 | 2023 (R5) 年度 |
|-----------------|----|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ●旅行消費額 (百万円) | 目標 | 11,700 () | 12,200 () | 12,600 () | 13,200 () | () | () |
| | 実績 | 11,700 () | 12,300 () | 7,700 () | () | () | () |
| ●延べ宿泊者数 (千人) | 目標 | 290 () | 300 () | 310 () | 320 () | () | () |
| | 実績 | 290 () | 337 () | 180 () | () | () | () |
| ●来訪者満足度 (%) | 目標 | 45.0 () | 47.0 () | 50.0 () | 50.0 () | () | () |
| | 実績 | 48.5 () | 57.2 () | 72.4 () | () | () | () |
| ●リピーター率 (%) | 目標 | 46.0 () | 48.0 () | 50.0 () | 50.0 () | () | () |
| | 実績 | 45.1 () | 66.4 () | 71.4 () | () | () | () |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※2022年度以降の目標値については、2022年3月に計画期間を満了する「宇部市観光戦略アクションプラン〈改訂版〉」の改定に伴い設定

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

宇部市観光戦略アクションプラン〈改訂版〉(2018年4月改定・計画期間2018年4月～2022年3月)における方針や施策との整合性を図りながら検討を行い、宇部市観光戦略アクションプラン〈改訂版〉において設定される戦略指標の目標値と一致させている。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

旅行・観光消費動向調査、観光実態調査等を基に算出した、本市への2016(H28)年の旅行消費額推計をベースに、観光客数及び延べ宿泊者数を加味し、目標値とした。

●延べ宿泊者数

ホテルの新設等による近年の増加傾向を考慮し、2016(H28)年の実績を基準値として、毎年対前年1万人増を目指す。

●来訪者満足度

2017(H29)年に実施した観光実態調査において、5段階評価における「良い」以上とした比率(43.0%)を基準として50%以上を目指すとともに、「とても良い」の比率を高める。

●リピーター率

2017(H29)年に実施した観光実態調査において、1年間に2回以上宇部市に来訪した人の比率(44.5%)を基準として50%以上を目指す。一方で新規来訪者の誘客にも注力する。

(2) その他の目標

| 指標項目 | | 2018 (H30) 年度 | 2019 (R1) 年度 | 2020 (R2) 年度 | 2021 (R3) 年度 | 2022 (R4) 年度 | 2023 (R5) 年度 |
|--------------------------------|----|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ●観光客数 (千人) | 目標 | 1,700 () | 1,800 () | 1,900 () | 2,000 () | () | () |
| | 実績 | 1,708 () | 1,827 () | 1,099 () | () | () | () |
| ●コンベンション 延べ参加者数 (人) | 目標 | 9,500 () | 11,000 () | 11,500 () | 12,000 () | () | () |
| | 実績 | 11,362 () | 9,184 () | 0 () | () | () | () |
| ●外国人観光客数 (人) | 目標 | 18,000 () | 20,000 () | 21,000 () | 22,000 () | () | () |
| | 実績 | 18,015 () | 11,492 () | 2,760 () | () | () | () |
| ●Web サイトへの アクセス(訪問数) (件) | 目標 | 150,000 () | 155,000 () | 160,000 () | 165,000 () | () | () |
| | 実績 | 107,811 () | 111,255 () | 86,537 () | () | () | () |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

※2022年度以降の目標値については、2022年3月に計画期間を満了する「宇部市観光戦略アクションプラン〈改訂版〉」の改定に伴い設定

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

宇部市観光戦略アクションプラン〈改訂版〉(2018年4月改定・計画期間2018年4月～2022年3月)における方針や施策との整合性を図りながら検討を行い、宇部市観光戦略アクションプラン〈改訂版〉において設定される戦略指標の目標値と一致させている。

【設定にあたっての考え方】

●観光客数

近年の増加傾向を考慮し、2016(H28)年の実績を基準値として、毎年対前年10万人増を目指す。

●コンベンション延べ参加者数

大規模学会、スポーツ大会等の開催見込みを考慮し、2016(H28)年の実績を基準値として、毎年対前年500～1,500人増を目指す。

●外国人観光客数

国際定期便の新規就航、クルーズ船の寄港、ホテルの新設等による近年の増加傾向を考慮し、2016(H28)年の実績を基準値として、毎年対前年1,000～2,000人増を目指す。

●Webサイトへのアクセス(訪問数)

情報発信内容の充実、多言語化対応などにより、2016(H28)年の実績を基準値として、毎年対前年5,000件増を目指す。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

| 年(年度) | 総収入(円) | 内訳 |
|-------------------|---------------|---|
| 2018(H30)年度 実績 | 53,706,354(円) | 【国からの補助金】 0(円) 【県からの補助金】 57,000(円) 【市からの補助金】 25,440,000(円) 【収益事業(委託料含む)】 22,537,491(円) 【会費収入】 2,517,000(円) 【その他の収入】 3,154,863(円) |
| 2019(R1)年度 実績 | 57,279,576(円) | 【国からの補助金】 0(円) 【県からの補助金】 68,000(円) 【市からの補助金】 22,440,000(円) 【収益事業(委託料含む)】 32,047,676(円) 【会費収入】 2,190,000(円) 【その他の収入】 533,900(円) |
| 2020(R2)年度 実績 | 71,348,687(円) | 【国からの補助金】 19,927,000(円) 【県からの補助金】 2,068,000(円) 【市からの補助金】 21,318,000(円) 【収益事業(委託料含む)】 25,205,500(円) 【会費収入】 2,196,000(円) 【その他の収入】 634,187(円) |
| 2021(R3)年度 予算 | 54,357,000(円) | 【国からの補助金】 0(円) 【県からの補助金】 68,000(円) 【市からの補助金】 24,318,000(円) 【収益事業(委託料含む)】 27,895,000(円) 【会費収入】 2,000,000(円) 【その他の収入】 76,000(円) |
| 2022(R4)年度 見込 | 38,662,000(円) | 【国からの補助金】 0(円) 【県からの補助金】 68,000(円) 【市からの補助金】 24,318,000(円) 【収益事業(委託料含む)】 12,000,000(円) 【会費収入】 2,200,000(円) 【その他の収入】 76,000(円) |
| 2023(R5)年度 見込 | 38,662,000(円) | 【国からの補助金】 0(円) 【県からの補助金】 68,000(円) 【市からの補助金】 24,318,000(円) 【収益事業(委託料含む)】 12,000,000(円) 【会費収入】 2,200,000(円) 【その他の収入】 76,000(円) |

(別添) 様式 1

(2) 支出

| 年(年度) | 総支出 | 内 訳 |
|---------------------|----------------|---|
| 2018 (H30) 年度 実績 | 50,797,743 (円) | 【一般管理費】 3,852,227 (円) 【事業費】 46,874,516 (円) ・コンベンション部会 9,772,485 (円) ・観光推進部会 25,189,693 (円) ・イベント部会 8,638,566 (円) ・広報交流部会 3,273,772 (円) 【その他の支出】 71,000 (円) |
| 2019 (R1) 年度 実績 | 52,511,010 (円) | 【一般管理費】 3,405,685 (円) 【事業費】 48,216,025 (円) ・コンベンション部会 5,569,855 (円) ・観光推進部会 32,770,774 (円) ・イベント部会 6,292,729 (円) ・広報交流部会 3,582,667 (円) 【その他の支出】 889,300 (円) |
| 2020 (R2) 年度 実績 | 69,141,859 (円) | 【一般管理費】 3,392,040 (円) 【事業費】 65,429,919 (円) ・コンベンション部会 2,864,172 (円) ・観光推進部会 33,089,169 (円) ・イベント部会 26,657,165 (円) ・広報交流部会 2,819,413 (円) 【その他の支出】 319,900 (円) |
| 2021 (R3) 年度 予算 | 59,608,475 (円) | 【一般管理費】 33,068,000 (円) 【事業費】 25,015,000 (円) ・コンベンション部会 2,530,000 (円) ・観光推進部会 15,285,000 (円) ・イベント部会 500,000 (円) ・広報交流部会 6,700,000 (円) 【その他の支出】 1,525,475 (円) |
| 2022 (R4) 年度 見込 | 37,637,000 (円) | 【一般管理費】 33,052,000 (円) 【事業費】 4,385,000 (円) ・コンベンション部会 1,080,000 (円) ・観光推進部会 1,305,000 (円) ・イベント部会 200,000 (円) ・広報交流部会 1,800,000 (円) 【その他の支出】 200,000 (円) |
| 2023 (R5) 年度 見込 | 37,637,000 (円) | 【一般管理費】 33,052,000 (円) 【事業費】 4,385,000 (円) ・コンベンション部会 1,080,000 (円) ・観光推進部会 1,305,000 (円) ・イベント部会 200,000 (円) ・広報交流部会 1,800,000 (円) 【その他の支出】 200,000 (円) |

(別添) 様式 1

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

○当協会の体制充実強化を図ることにより、観光関連の「人」、「金」の好循環が生まれる仕組みを確立し、会費収入、市からの受託収入のほか、着地型商品の開発販売等、安定した運営資金を確保する。

- (1) 新規会員の開拓 (会費の増加)
- (2) 宇部市等からの委託事業収入の拡大
- (3) 第3種旅行業登録を活用した着地型商品の開発販売
- (4) M I C Eのワンストップ窓口の活用
- (5) 物販事業の拡大
- (6) 魅力あるWeb発信による広告収入の拡大

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

宇部市は、観光による地方創生の実現に向けて、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、一般社団法人宇部観光コンベンション協会が、その役割と機能を発揮していくことが必要であると考えている。

9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携DMOや地域DMOと重複する場合の役割分担について (※重複しない場合は記載不要)

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った (行っている) か】

(例) エリアが重複する●●DMOとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

10. 記入担当者連絡先

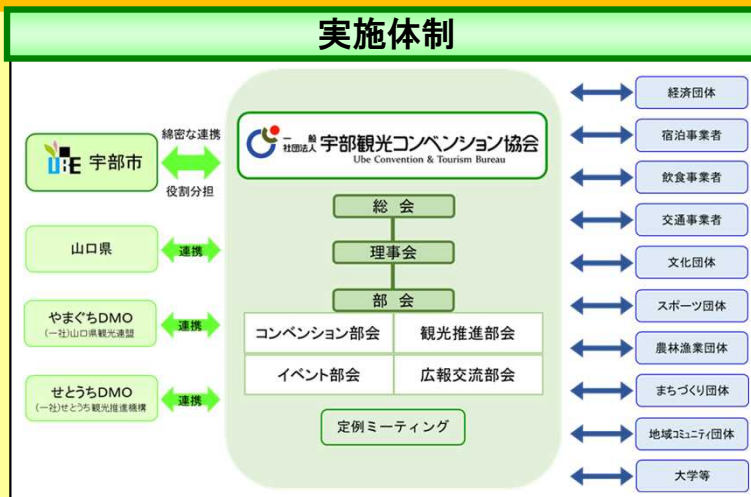
| | |
|------------|-----------------------|
| 担当者氏名 | 白石 勝己 |
| 担当部署名 (役職) | 専務理事・事務局長 |
| 郵便番号 | 755-0031 |
| 所在地 | 山口県宇部市常盤町一丁目6番44号 |
| 電話番号 (直通) | 0836-34-2050 |
| FAX番号 | 0836-29-3303 |
| E-mail | usca@ube-kankou.or.jp |

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

| | |
|------------|------------------------------------|
| 都道府県・市町村名 | 宇部市 |
| 担当者氏名 | 藤井 幹人 |
| 担当部署名 (役職) | 観光・シティプロモーション推進部 観光・グローバル推進課 課長 |
| 郵便番号 | 755-8601 |
| 所在地 | 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号 |
| 電話番号 (直通) | 0836-34-8353 |
| FAX番号 | 0836-22-6083 |
| E-mail | kanko@city.ube.yamaguchi.jp |

登録区分名：地域DMO

【区域】 山口県宇部市
 【設立日】 平成8年6月25日 発足
 平成24年4月1日 一般社団法人に移行
 【登録日】 平成31年3月29日
 【代表者】 会長 徳原幹男
 【マーケティング責任者(CMO)】 佐々木正志
 【財務責任者(CFO)】 白石勝己
 【職員数】 7人
 常勤7人(正職員3人、出向等4人)、非常勤0人
 【連携する主な事業者】
 観光資源関係者、宿泊事業者、交通事業者、
 飲食事業者、文化・スポーツ団体、経済団体、
 地域コミュニティ団体、農林漁業団体 等



マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】

- ・ときわ公園
- ・楠こもれびの郷
- ・キワ・ラ・ビーチ
- ・藤河内茶園
- ・赤間硯の里
- ・永山本家酒造場
- ・宇部かまぼこ
- ・小野湖
- ・UBEビエンナーレ
- ・宇部ラーメン

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】 ①
 【概要】
 地域の多様な関係者が参画する総会、及び幅広い分野の関係団体の代表者(20名)が役員となり開催する理事会において、意思決定を行う。

戦略

【主なターゲット】
国内
 ①福岡県及び広島県の個人・グループ
 ②首都圏の個人・グループ(観光・ビジネス)
 ③国内MICE誘致(300~500人規模)
海外
 ①東アジアの個人・グループ(リピーター)
 ②欧米諸国の個人・グループ(リピーター)

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
 データ収集や調査の分析結果に基づいて、ターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、プロモーションを展開する。コロナ禍の中において旅行意向が高い“ミレニアル世代”をメインターゲット層として検証する。

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】

- ・Webサイトの多言語化、スマートフォン対応
- ・SNS、観光アプリ、オンラインツールの活用
- ・ファムトリップの実施
- ・イベント等への出展

【観光資源の磨き上げ】

- ・地域資源を活用した着地型商品の開発
- ・滞在コンテンツ造成
- ・農泊の基盤整備
- ・産業観光推進事業

【受入環境の整備】

- ・JNTO認定外国人観光案内所の設置
- ・人材育成(おもてなし・ガイド)

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

- ・総会(年1回)、理事会(年4回程度)
- ・定例ミーティング(毎月1回)
- ・フォーラム、セミナーの開催(年2回程度)
- ・観光人材に係る認定制度
- ・Webサイトの整備

KPI(実績・目標)

※()内は訪日外国人旅行者に関する数値
 ■2022年度以降の目標値については2022年3月に計画期間を満了する「宇部市観光戦略アクションプラン(改訂版)7」の改定に伴い設定

| 項目 | 2018 (H30) 年度 | 2019 (R1) 年度 | 2020 (R2) 年度 | 2021 (R3) 年度 | 2022 (R4) 年度 | 2023 (R5) 年度 |
|------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 旅行消費額(百万円) | 目標 | 11,700 | 12,200 | 12,600 | 13,200 | () |
| | 実績 | 11,700 | 12,300 | 7,700 | () | () |
| 延べ宿泊者数(千人) | 目標 | 290 | 300 | 310 | 320 | () |
| | 実績 | 290 | 337 | 180 | () | () |
| 来訪者満足度(%) | 目標 | 45.0 | 47.0 | 50.0 | 50.0 | () |
| | 実績 | 48.5 | 57.2 | 72.4 | () | () |
| リピーター率(%) | 目標 | 46.0 | 48.0 | 50.0 | 50.0 | () |
| | 実績 | 45.1 | 66.4 | 71.4 | () | () |

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】国補助金約20百万円、県補助金約2百万円、市補助金 約21百万円、収益事業 約25百万円(R2年)
 【総支出】約69百万円(一般管理費 約3百万円、事業費 約65百万円)
 ※R3年3月決算
 【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】

- ・新規会員の開拓、
- ・委託事業収入の拡大、
- ・着地型商品の開発・販売、
- ・物販事業の拡大、
- ・広告収入の拡大